

「最も輝いた生き方」

～神の栄光をあらわす人生とは～

「このことから、人は信仰だけではなく、行ないによって救われることが、よくわかると思います。…。たましいのない体が、もぬけのからであるように、良い行ないをする力のない信仰は死んだも同然です。」ヤコブの手紙2章24・26節 [リビングバイブル]

私たちクリスチャンの生き方は、「自己実現」の生き方ではなく、「神実現」、つまり、神の栄光をあらわす人生です。国語辞典で「あらわす」という言葉を引いてみました。

- ①「現す」…今まで見えなかったものを外に出して見えるようにする。実態を明らかにする。持っている力をはっきりと表に出す。
- ②「表す」…心に思っていること、考えていることなどを、表情・言葉・絵などで示す。表現する。ある特定の意味を伝え示す。意味する。
- ③「顕す」…何かの形で、善行などを広く世間に知らせる。

神の栄光をあらわす方法は数え切れないほどあります。しかし、その共通していることは、他人に分るように表現することです。しかし、それは人々が気に入るように表現することよりも、神様が願った方法で表現することです。

コリントの教会では、自分たちが元々生きてきたように自分の欲望に従って生活していました。つまり、キリストを信じてクリスチャンになっても、その生き方は何も変わっていなかったのです。もちろん神様は私たちが信じた時に、私たちをすべての束縛から解放してくださいました。そして、自由な者としてくださいました。しかし、罪や欲望の奴隷であった私たちが、その奴隷状態から解放されたのですから、再び肉の欲の奴隷となって生きる生き方に戻ってはならないのです。自由にされた者は、自由にされたものとしての栄光をあらわすように生きなければなりません。しかし、奴隷であった者は、そのままでは、どのように神の栄光をあらわせば良いのかは決して分かりません。だからこそ、正しく導かれなければなりません。その導き手として、神様から権威を与えられているのが「教会」です。神は大牧者である「キリスト」をかしらとして「教会」に与えられました。「教会」は「キリスト」をかしら、リーダーとして、導き手として与えられています。その「キリスト」を「教会」に示されるのが「聖霊様」です。ですから「教会」は「聖霊様」の導きに従って「キリスト」を示し、クリスチャン＝聖徒たちはその「キリスト」に従うことを通して神の栄光をこの世にあらわしていくのです。

「あなたがたは…自分のからだは…聖霊の宮であって…もはや自分自身のものではない…。(19節)」クリスチャンとは自分が神のものであるということを自覚している存在です。だからこそ、解放され、自由にされた存在となれるのです。そうして初めて、神の栄光をあらわすことができるようになるのです。「主と一つの霊になる(17節)」存在なのです。